

# 第7回 坊っちゃん科学賞 研究論文コンテスト発表会

会場 講義棟 101 階段教室

時間 9:40～13:30

最優秀賞の栄冠は

秋田県立秋田中央高等学校に輝く!!

## ◇研究論文審査・発表会

応募論文153点を9月5日(土)中学・高校教育関係者により分野別審査を行い、9月11日(金)に大学関係者により総合審査を行って、優秀賞の5論文を決定しました。10月25日、この5高校による研究論文発表を、秋山審査委員長以下15人の審査員により、審査し最優秀賞を決定しました。

マタタビの葉が白化する現象を、根気強く観察し、白化する葉の位置等により、白化の目的を推測する、大変興味深い研究でした。

科学する高校生の研究実践の向上、先生方の指導の深化で、今後ますます期待が持てる発表会になると思われました。



- 最優秀賞** ○「マタタビの白化現象の謎にせまる」  
秋田県立秋田中央高等学校 躍進探究部 生物班
- 優秀賞** ○「銀鏡の形成測定」  
学校法人 仁川学院高等学校 松井裕介
- 優秀賞** ○「電流のつくる磁場と放射線—ビオ・サバルの法則と逆2乗の法則—」  
愛媛県立松山南高等学校 物理班
- 優秀賞** ○「じゃんけんにおける効率の考察～ぐーちよきぱー」  
岩手県立水沢高等学校 数学班 a
- 優秀賞** ○「分離菌の混合培養」  
岐阜県立大垣養老高等学校 高木菜月
- 特別賞** 学校賞 茨城県立水戸第二高等学校  
学校賞 千葉県立市原八幡高等学校



## ◇表彰式

秋山審査委員長から、的確な温かい講評の後、表彰が行われました。最優秀賞は藤嶋学長、優秀賞は秋山審査委員長、優良入賞・入賞・佳作は坂本実行委員長より授与されました。また、今までに優秀な研究実績のある2校に特別賞が授与されました。その後、葛飾キャンパスをバックに記念写真を撮影して散会となりました。

